

強靭なまちの骨格をつくる ～駅・鉄道・道路・広場～

渋谷駅は、4社8線の鉄道路線が結節するとともに、都内最大級のバスターミナルを持つ全国有数の公共交通ターミナルとなっている。

しかし、駅施設は大正時代から増改築が繰り返されており、耐震性の向上、バリアフリー化、乗換利便性の向上などが必要となっている。

また、現状の駅周辺をみると、安全で快適な歩行者空間の確保、交通結節機能の強化、自動車交通の混雑や錯綜の改善、渋谷川のあり方など、多くの課題を抱えている。

渋谷駅中心地区のまちづくりでは、公民連携のもとに、渋谷駅の機能更新と再編、駅前広場や道路などの公共施設の再編・拡充、駅ビルの再開発等を一体的に行うことにより、限られた空間に多様な機能を集積し、安全、快適でユニバーサルデザインに配慮した都市空間の創出を目指している。